

「WEB 開催に参加して思うこと」

石川県立鶴来高等学校 3年 合唱部部长 西川侑吾

私たちは昨年度、高知総文への出場が決まってから、みんなで高知県へ行くことを楽しみにしていました。全国総文とNコンの日程が近かったので、全国総文でもNコンの課題曲を歌うことを決め練習を始めようとしたのですが、突然の休校が始まり、3か月間同じ場所に集まって歌うということが全くできなくなりました。3月以降出演が決まっていたイベントも次々に中止となり、高知県へ行けないかもしれないという不安の中、部員同士リモートで繋がり、一人が歌う声を他の部員で聴き、それぞれの自宅でその声に合わせて歌いました。結局高知県へ行くことはかないませんでした。休校中でも部員のみならず繋がって練習した成果をWEB開催という形で発表できて良かったです。1年生が入部してから1か月足らずでの動画撮影となり、未熟な演奏ではありましたが、全国総文という大きな舞台で発表できたことを励みに、これからも頑張っていきたいと思います。

「全国総文を終えて」

石川県立鶴来高等学校 3年 合唱部副部长 木田凪咲

私たちは鶴来高校で初めて全国総文の出場を果たしました。今まで努力した結果が全国総文に繋がったことがとてもうれしかったです。ところが新型コロナウイルスの影響で、ほとんどのイベントが中止になってしまい、全国総文も半分あきらめていました。そんな中、全国総文のWEB開催が決まり、演奏動画を提出することになりました。みんなで集まって練習する時間が少なく、1年生の入部も遅くなってしまい、十分な練習ができませんでした。しかし、一人一人が音源を聴いたり、キーボードで自分のパートを弾くなど、今まで以上に個人練習に励みました。全国総文に向けての練習をきっかけに、練習前に比べると、一人一人が自信を持って歌えるようになり、大きく成長することができました。入部して間もない1年生との信頼関係も深まり、部活全体の雰囲気も良くなりました。まだまだ困難な状況は続きますが、今回の経験を生かしてこれからも頑張りたいと思います。今回このような機会を設けてくださった高知総文関係者の皆様、本当にありがとうございました。